

令和元年度とやま呉西圏域調査研究事業に関する地域課題

【射水市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

公共施設の在り方について（若年層の意識調査を踏まえた研究調査）

【内 容】

各自治体が既存公共施設の総量適正化を含めた総合的な管理に取り組む中、呉西圏域では公共施設の相互利用及び共同設置等に関する方針策定を予定している。

将来を見据えた公共施設の再編等については、市民との合意形成が必要不可欠であり、特に将来を担う若者の考え方や意見を把握することが重要である。

そのため、若年層に対して公共施設を取り巻く人口や財政等の現状と課題説明及び意識調査等を行うとともに、その結果を踏まえた公共施設の在るべき姿についての具体的な研究、提案を求めたい。

【射水市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

人材不足対策に対応する人材マッチングの手法

【内 容】

人口増加が見込めない今日の社会において、どのような働き方のしくみを構築すれば人材不足に対応できるか。設備投資による生産性向上を図ってはいるが、それ以外に新たな働く仕組み、システムの導入等により、人手不足に対応する人材マッチングの方法があれば、その手法を探りたい。（業種、業態によって対応可能な仕事はあるのか。）

【射水市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

キャッシュレスの浸透について

【内 容】

導入が進んでいないまちの小さな商店に対し、キャッシュレスはどのようにすれば浸透するのか。キャッシュレスサービスの市内の普及度合、商店側の受入体制、利用者側のニーズ、利便性、将来の可能性等の調査を踏まえて研究したい。

反面、(割り切って二極化し)必ずしもキャッシュレスに対応しなくとも、アナログなまちづくりとして面白い取組はあるか。

【高岡市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

地域公共交通等ネットワークについての提言

【内 容】

圏域各市には、圏域を横断する北陸新幹線、あいの風とやま鉄道、JR、万葉線、バス等、圏域住民の日常生活の足として利用される地域公共交通機関が存在している。

しかしながら、利用者数の減少に伴い、バスの運行頻度の減少や路線廃止等、公共交通のサービス水準が低い公共交通不便地域や公共交通の路線が整備されていない公共交通空白地域が広がっている。

地域公共交通の利用促進や利便性の向上に加え、将来的な住民の移動手段の確保に向けて、どのような施策が有効か検証をしてもらいたい。

【高岡市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

環境と共生する社会経済形成

【内 容】

圏域には、山や海に至る豊かな自然があるが、次世代に引き継ぐことのできるよう環境負荷の低減と持続可能な社会形成に向けて、どのような施策が有効か検証してもらいたい。

また、農業や林業などの生産現場となる中山間地域においては、人口減少や高齢化による集落機能の崩壊、耕作放棄等による土地の荒廃等の問題がある。中山間地域の有効な活用や人口施策について、どのような施策が有効か検証をしてもらいたい。

【砺波市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

三世代同居がもたらす効果の数値化及び検証

【内 容】

1 地域課題

平成 30 年 8 月に発売された「富山は日本のスウェーデン」(井手英策・慶応大学経学部教授 著)のなかで、富山の暮らしやすさや強い経済を支えている前提条件として三世代同居の多さがあるとして注目を集めています。

女性の就業率向上や出生率向上など、地方自治体としても、三世代同居がもたらす効果に注目しているところです。

しかしながら、効果を数値化することが難しく、今後の施策に反映するための指標が限られている状況です。

2 研究テーマ

三世代同居がもたらす効果の数値化及び検証

三世代同居と同等の機能を有する、三世代近居についても定義し調査対象に含めていただきたい。

【小矢部市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

人口の流出抑制に対する有効な施策について

【内 容】

呉西圏域で生まれ育った人が、呉西圏域の良さ、魅力を感じてもらい呉西圏域に住み続けてもらえるには、どのような施策が有効であるのかご提言をお願いしたい。

大学等への進学で、一旦、県外等に転出されても、卒業後には呉西圏域に戻ってきてもらいたい。当然、自身が勤めたい職場があるのかも重要ではあるが、呉西圏域に戻って来たいという思いを抱くには、やはり、郷土愛、生まれ育ったまちへの愛着心の醸成が求められると思う。

まちへの愛着心の醸成には、どのような施策が有効となるのか、提案をお願いしたい。

【南砺市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

とやま呉西圏域の文化、教育、自然といった環境とその好影響を指標化・見える化する

【内 容】

- ・とやま呉西圏域の6市では、各々の市が「自然が豊かなまち」、「住みやすいまち」、「子育て環境がよいまち」、「歴史と文化にあふれるまち」といったポイントを挙げ、「住み良さ」をPRしている。
- ・しかし、これは、地方の市町村が挙げる「住み良さ」のポイントと重なっており、情報を受ける側にとっては、地方の市町村は「どこも同じ」印象となって伝わっていると考えられる。
- ・また、本圏域では、強みがあるにも関わらず、当事者目線では、それに気づいていないことがあると思われる。
- ・そこで、圏域の「良さ」を指標化や客観データに基づいた分析ができるとよい。市ごと、地域ごとに「住み良さ」の違いが明確になり、発信に客観性をもたせることができるほか、地域課題の解決にも活用で

きるものと感じている。

- ・さらに、6市には、優れた伝統や文化が根付いているが、そういったものが継承されている地域とそうでない地域には、民度や徳などに好影響があると感じており、そういった面も含めて、圏域の特徴を指標化、見える化できればよい。
- ・民間では、“住み良さ”又は“住んでみたい”という漠然とした個人的な印象を、“利便性”や“安全性”など様々な指標で見える化され、分かりやすく発信されている。
- ・本圏域は、経済的な利便性を表す指標では、大都市圏と競争はできないが、教育や文化、伝統による「良い」影響を指標化、見える化できれば、例えば、子育てしてみたい、住んでみたいと感じてもらえるアピールポイントになると感じており、域外からの人口流入に期待できる。

【南砺市】

【研究を依頼したい地域課題・研究テーマ】

広域的な関係人口をつくる（学生目線での提案を）

【内 容】

地方の市町村では、人口減少、少子化、高齢化が進行し、地域づくりの担い手不足という課題がある。

その対応策として、域外に住まいしつつ、地域と多様に関わる「関係人口」という方々を増やし、地域づくり、地域の課題解決の人材として活躍してもらおうという取り組みが、全国的にスタートしている。

また、一つの地域だけ、または、各市に限定した関係人口だけでなく、広域的な、様々な地域に関わろうとする関係人口の創出も求められているところである。

今後、関係人口の拡大や地域に関わる機会創出などを進めるにあたり、抱える課題と対策の研究、提案を求めたい。

あわせて、学生が、関係人口となり、地域づくりへ関わることにつながる提案も求めたい。